

佐久平バレーボールクラブの あり方について

～部活動の地域移行後の受け皿としてのクラブについて～

文部科学省(スポーツ庁)の現状①

1. 意義

- ・ 部活動は、**学校教育の一環**としての活動である。
- ・ 部活動は、**人間形成の機会**であり、**多様な生徒が活躍**できる場である。

2. 課題

- ・ **少子化の進展**により、各学校における**運動部活動の継続が困難**になってきている。
- ・ **指導経験のない教員にとって多大な負担**となっている。
- ・ 「**学校の働き方改革**」の進展により、教員が勤務時間外にわたり指導する体制の改革が求められている。

文部科学省(スポーツ庁)の現状②

3. 目指す姿

- ・ 少子化の中でも、子どもたちが**スポーツに継続して親しむ**ことができる場の確保
- ・ **部活動の意義の継承**・発展、新しい価値の創出
- ・ **地域の持続可能**で**多様なスポーツ環境**の整備

4. 改革の方向性

- ・ **休日の運動部活動から**段階的に地域移行していく
- ・ **令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目途**とする
→ 「**可能な限り早期の実現を目指す**」と目標期間を緩和

佐久市における今後の方向性①

1. 基本的な考え

- ・まずは、**休日の運動部**活動から**段階的(競技別)**に地域移行していく。
→**令和5年度の開始から、令和7年度末を目標達成の目途とする。**（文科省の期限の緩和があったが、**実施に向けて準備は継続していく**）
- ・**兼業兼職を希望する教員を除き、地域スポーツ団体等の指導者が指導にあたる**ことを前提とする。
- ・競技や地域の実情に応じて、**学校単位の枠を超えて生徒が集まり活動**できる環境作りを検討していく。

佐久市における今後の方向性②

2. 具体的な方法等

- ①活動時間について…土日のどちらか1日のうち、**長くても3時間程度**の活動とする。
- ②指導者について…**地域スポーツ団体等から指導者を派遣することを基本とする**が、**教員が望む場合は、継続して指導ができる環境**を整備する。
- ③会費について…**指導者はボランティアではなく、報酬及び費用弁償を支払う**ことを前提とし、報酬及び費用弁償は**原則、保護者が負担**する。(国、県等の支援検討も含む)
- ④保険について…**保険加入を義務**とし、**各自負担を基本**とする。

佐久市における今後の方向性③

2. 具体的な方法等

⑤活動場所について…原則、**無償で学校体育施設を継続して使用する**。学校施設での活動が困難で**やむを得ず、社会体育施設を使用する場合は、無償で使用できるよう配慮する。**

⑥生徒が選べるスポーツ環境づくりについて…

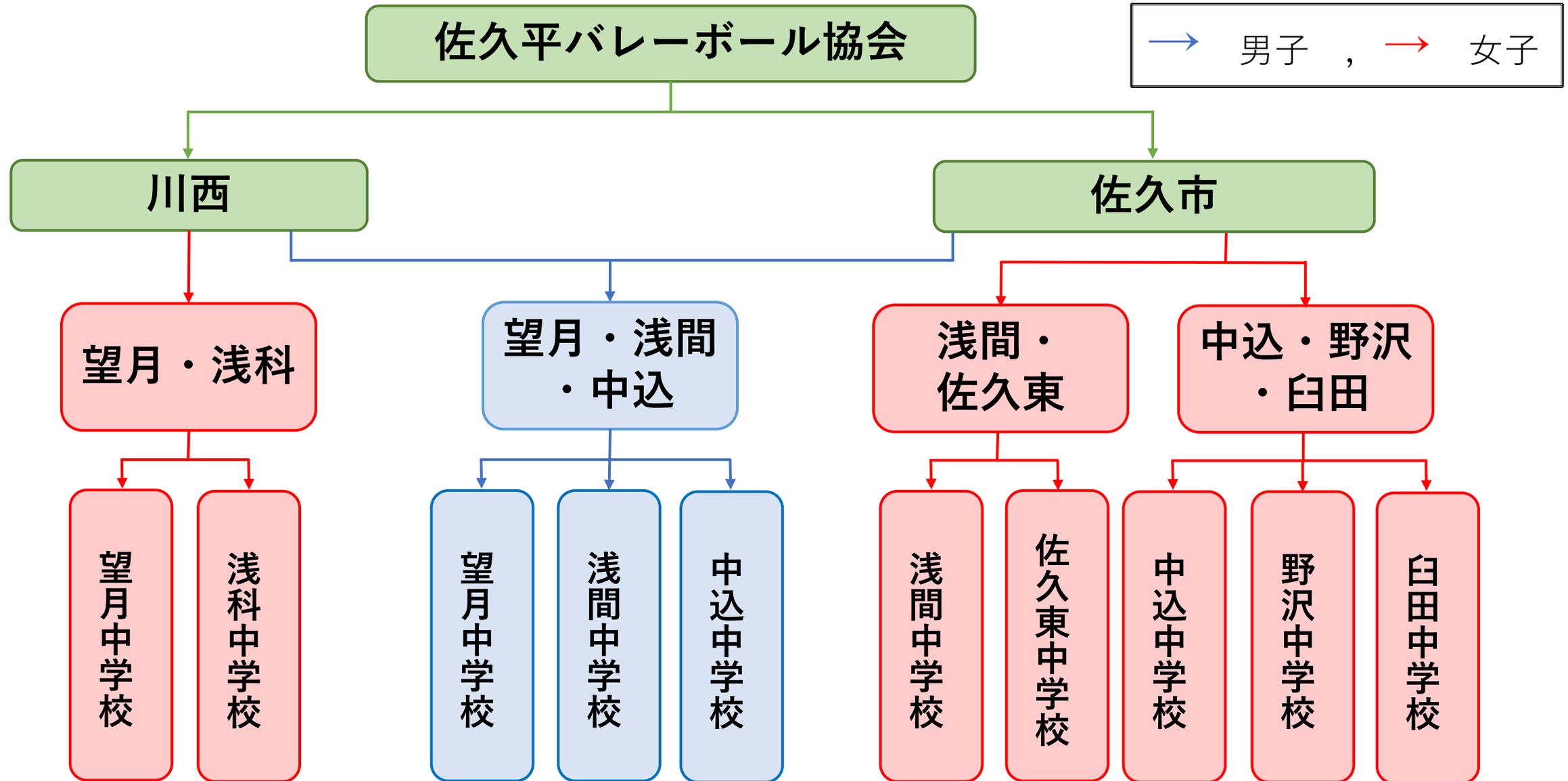
『**体験型クラブ**』 『**競技力向上クラブ**』 の2つのクラブから生徒が選べる環境整備を検討する。→**現実的には厳しいか**

⑦移動手段について…**生徒自らもしくは保護者の送迎を基本**

佐久平バレーボール協会としては...

- ・ 休日の活動については、佐久市内7校が同じ方法で実施をする
→ **佐久平バレーボール協会の活動**として行う
- ・ **学校ごとに協会の指導者（協会員）を任命**する
→ 兼職兼業を希望する教員は、協会員になってもらえるとスムーズに行う事ができる。
- ・ 男子は、**望月・浅間・中込**の3校で1組、女子は、**望月・浅科**、**浅間・佐久東**、**中込・野沢・白田**の3組に分けて拠点となる中学校を設定し実施する。
- ・ それぞれの運営については、各学校の指導員とは別に**運営に関わる協会員を任命**する。
- ・ 部活動の無い学校の生徒については、本人・保護者と相談の上で、参加する活動場所を決定する。

体系図イメージ



予想されるこれからの課題

○会場について

- ・ **安定した会場の確保**をどのように行っていくか
 - 現在の中学校の体育館を中学校の部活動中心に会場の確保をしていると、地域活動のための体育館確保が厳しい。
 - 各校の体育館を定期的に利用できるようお願いしたい。厳しい場合は、市の体育施設を、優先的に利用できるようお願いしたい。
- ・ 練習試合などで**会場校が不在でも、練習会場を利用することができるのか。**

○練習試合の実施について

- ・ 現在の『1会場3校まで』という条件を考えると、**練習試合を行うためには、参加校で調整が必要**
 - 今までの、各校で練習試合を計画して実施することは困難

予想されるこれからの課題

○近隣町村との連携について

- ・ **佐久市に隣接する町村と連携して活動していくことが必要**になってくる。
→自治体の枠を超えて活動できるように、検討をお願いしたい。

○活動の費用について

- ・ 参加者の保護者から、**毎月どのくらい集金**を行うのか。
→指導者の報酬をどのくらいにしていくのか。**市からどのくらい補助ができるのか。**
先立つものが無ければ運営はできない。結局指導者のボランティアになってしまう。
- ・ **参加生徒数の違いによる集金の差**が出ない仕組み作りをどのようにしていくか。
→人数の差による、**指導者の人数や、道具などに違いが出ない**ようにする仕組み作りが必要。
→各クラブから集まった集金を協会にプールして、指導者の報酬を支払うことや、必要な物品の購入を行っていくなどの組織作りが必要。

予想されるこれからの課題

○活動に必要な道具の確保

- ・支柱やネットについては、会場校の物を利用するとしても、ボールやカゴについては、各校の物を持ち寄る必要がある。

○部活動の無い生徒の平日練習の実施が可能性について

- ・部活動の無い学校の生徒が、地域移行の活動に参加することができるのか。また、そのような生徒を対象に、平日練習を行うことができるのか。

○長期休業中の活動について

- ・長期休業中の土日の練習日程の調整が必要。指導者の都合や各校の長期休業中の部活動の決まりの統一が必要になってくる。
→例えば、『長期休業中の活動は、原則平日に行う』など活動に関わる違いを統一して欲しい。